

2023



月号

No.356

ぶうげん  
びりあホームページ <http://www.hokokan.com/ozasawara.ed.jp/>

## 「開校50周年記念式典」



校長 井口 寛隆

長かった夏休みも終わり、8月28日（月）から2学期が始まりました。子供たちは元気に登校し、校舎内には子供たちの元気な声が響き渡っています。

校長室前に今月の言葉を掲示していますが、9月の言葉は「清風故人来」です。「爽やかな風が吹いているのは、まるで昔なじみの友人が訪れてくれるようだ。暑さ厳しい中ですが、明るく元気に学校生活を送っていきましょう。」という意味です。「早寝、早起き、朝ごはん」をこころがけ、生活のリズムを整え、みんなで楽しく学校生活を送りましょう。

2学期には、たくさんの行事があります。特に、校外学習では、母島の観光名所について学習します。この校外学習で自分たちが生まれ育った母島のよさをしっかり学んでほしいと思います。そして、母島のよさを情報発信できる母島の観光ガイドや観光大使になることを目標に頑張してほしいと思います。

本校では9月23日（土）に開校50周年記念式典を挙行いたします。

本校は開校以来成長と発展を続け、この50年間に200名の卒業生を送り出してきました。それぞれの卒業生が母島の繁栄と発展を力強く支えると共に、島外においても志高く活躍しています。そして、本校の児童・生徒の活躍と成長、学校の発展は、いつの時代にも保護者の皆様、地域の皆様によって支えられてきたということ、改めて感慨深く思っているところです。

開校50周年を機に、現在の教育目標である「母島を誇りに思い、共によりよい社会を築くことのできる人間を目指し自ら困難を乗り越え、思いやりをもって心豊かにたくましく生きる児童・生徒の育成を図る。」の実現に教職員一同努力していく所存です。

保護者、地域の皆様の温かい御支援と御理解に心より感謝申し上げますと共に、更なる力強い御支援と御協力をお願いいたします。



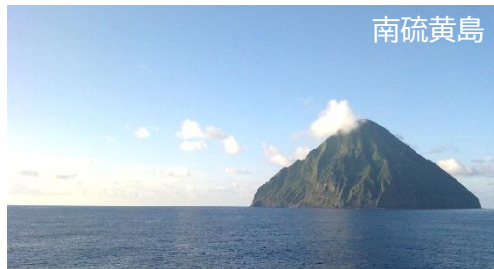
6月30日（金）から7月2日（日）にかけて、硫黄島洋上慰霊祭に参加しました。昨年度同様、小笠原中学校と同じ行程で行い、今年度は4年ぶりの硫黄島3島クルーズも実施され、多くの方が参加する旅となりました。

事前学習では、太平洋戦争が小笠原諸島に及ぼした影響についての知識を身に付けた上で、映画「硫黄島からの手紙」を視聴しました。フィクションではありますが、当時の激戦の様子や人々の思いなど、多くのことを考えさせられる機会となりました。また、校外学習として、ガイドの小関耕紀さんに母島島内の戦跡を案内していただいたり、硫黄島の遺骨収集事業に従事されている小笠原村役場母島支所の瀬尾佑さんからお話を伺ったりと、地域の方から学び活動も行ってきました。生徒たちからは多くの質問が挙がり、事前学習を通して硫黄島への関心が高まっている様子がうかがえました。



当日は、南硫黄島や北硫黄島の観察を楽しんだり、映画で何度も出てきた摺鉢山を実際に目にし言葉が失う場面があったりと、そこでしか体験できない学びを得られました。洋上慰霊祭では、厳かな雰囲気の中で緊張した様子もありましたが、何度も練習を重ねてきた平和への誓いを立派に述べることができました。そこに込められた平和を追求する思いは、その場にいた人々の心にもきっと響いたことでしょう。学年を越えて多くの人に協力していただき作成した千羽鶴も無事に届けることができました。

今後、学習したことを学年全体で共有しながら事後学習を行い、12月の総合発表会や1月の学習発表会に臨みます。戦争の歴史や痛みを風化させずに次の世代に伝えられる発表となるよう、準備を進めていきます。



#### 母島中学校 誓いの言葉

硫黄島の学習を始める前までは少しの知識と、日本が戦争に負けていたという簡単なことしか知りませんでした。そして、戦争を少し客観的に捉えているところもありました。しかし、硫黄島の戦いについて学んでいくうちに、戦争の冷酷さと辛さを実感しました。

私達は映画「硫黄島からの手紙」を授業で鑑賞しましたが、再現にも関わらずその酷さに言葉を失いました。実際の戦争ではこの何倍も残酷なのだと思えるだけで恐ろしくなりました。

そして、太平洋戦争や硫黄島の戦いを深く知る中で、私自身の考えは変わってきています。昔の悲惨な戦争があったからこそ、現在の日本の平和があるのだと思えるようになりました。

私達は、母島の戦跡をガイドの小関耕紀さんとともに巡りました。その中で地上戦がなかった母島にもたくさんの武器や防空壕がそのままの形で残されていること、また、攻撃を受けた跡などが至るところにあることを知り、この戦争の悲惨さが身にしみてわかりました。母島にもアメリカ軍の攻撃により実際に亡くなられた方がいて、さらにはまだ見つからない方もいるそうです。私はこの島での出来事や、二度とこのようなことが起きてはならないことを、島の子供たちに伝え続ける必要があると感じました。

また、私達は硫黄島の遺骨収集作業に従事してきた、小笠原村職員の瀬尾佑さんからお話を伺いました。

その中で、戦争が終わってもまだ半数以上の御遺骨が見つからないというのを聞き、終戦から78年経った現在でも、苦しんでいる人がいることを知りました。そして、戦争とは、長く人の心に傷跡を残すものなのだと実感しました。

二度とこのような誰もが悲しむ戦争を起ささないために、私は戦争で今でも苦しんでいる人がいることを、少しでも多くの人に伝える必要があると強く思いました。

私達は、戦争の悲惨さや、残酷さを学ぶことができました。

終戦から78年がたちますが、この硫黄島で亡くなられた方々の多くが、未だに家に帰れずにいるという現実や、食料もない中、またいつ命を取られるか分からない中で、この地で戦った事実を、私達は忘れません。

そして、戦争のない平和な世の中を作るために、現実と向きあい、多くの命が失われた硫黄島や小笠原での戦いを多くの人に伝え続けていくことを誓います。



6月26日(月)から、小学校6年生は父島へ2泊3日の移動教室へ行ってきました。返還祭直後ということもあり心配していましたが、2人とも元気いっぱい。楽しみな表情を浮かべ、ははじま丸から手を振りながらの出港となりました。

1日目は、まず国立天文台で天の川銀河や観測の仕事についてのお話を聞きました。途方もない規模の話に、子供たちも呆気にとられていました。電波望遠鏡の操作をさせていただくこともできました。夜は小笠原自然文化研究所の職員さんを宿にお招きし、オガサワラオオコウモリについての学習をしました。

2日目は、早朝から父島気象観測所へ。ラジオソンの打ち上げを見学しました。その後、船に乗り、南島へ。南島では自然の観察をしたり扇池で泳いだりしました。ハートロックカフェでお昼をいただいた後は、小笠原水産センターでの学習。たくさんの小笠原の魚を見ることができました。その後、小笠原世界遺産センターでは、オガサワラハンミョウのお世話やいろいろなマイマイの観察をさせていただきました。さらに、この日の夜は、室内レクでも大盛り上がり。2人が企画したゲームをして楽しく過ごしました。

最終日の3日目、最後の朝ご飯をいただきました。宿でいただく食事は毎食とてもおいしく、子供たちも満足そうでした。

この3日間は、時間を守ること、周りの人を思いやること、感謝の気持ちなど、様々な面で子供たちが大きく成長する機会となりました。この学びを、子供たちが今後の学校生活や私生活につなげていってくれることを期待しています。最後になりますが、父島でお世話になりました皆様、子供の体調管理や準備などをしてくださいました保護者の皆様、御支援や御協力、誠にありがとうございました。



## 水泳指導・海水泳

中学校保健体育科

6月14日(水)にプール開きが行われ、水泳指導が始まりました。今年も子供たちは「温かいプール」に入り、満点の笑顔で泳いでいます。多くの小学生が目標として燃えているのは、やはり検定(泳力テスト)です。友達の泳ぎの良い所を真似したり、泳ぎのアドバイスをし合ったりしています。検定では、練習の成果を発揮しようと力いっぱい取り組み、「頑張れ!」「あと少し、いけるよ!」と応援し合う姿が印象的です。合格し喜ぶ姿や、悔しがる表情、どちらからも成長を感じます。今年も、4年ぶりに小学校全員でプール納めの発表会もやる予定です。保護者の皆様は、ぜひお子様の成長を見に来てください。

中学生では、長く泳ぐことや速く泳ぐことを求められます。昨年から取り組んでいる3分間泳では、クロールが終わった生徒から「もう腕が上がらない」という声が聞こえてくるほど、力の限り泳いでいます。また、バタフライや背泳ぎにも挑戦しています。一緒に指導している山口副校長からは、「君のバタフライは、まだイカフライ」なんて冗談交じりのアドバイスをもらい、笑顔で練習をするのもすてきな時間です。中学生は、4泳法の習得を目指して、頑張りましょう!

6月29日(木)には、海上保安署の方を講師にお招きし、海での安全指導を行っていただきました。楽しいだけでなく、慣れ親しんでいるからこそ、気を付けなければならないことを改めて学びました。自分の命を守ることが、他の人の命を守ることにつながります。子供たちには母島で育ったからこそ、人一倍に水の怖さを理解し、楽しさを存分に知ってほしいと思います。



## 9月の生活指導

### 生活目標

#### 「規則正しい学校生活を送ろう」

- ・2学期に向けて自分の生活を振り返ろう。
- ・あいさつをして、気持ちのよい学校生活を送ろう。
- ・夏休みに取り組んだ学習の成果を発揮しよう。

### 安全指導 4日(月)

#### 「地震・津波などの災害時における安全確保」

が重点目標です。

地震・津波などの災害時に起こりうる危険性を考え、安全確保のために必要な事柄について指導します。また災害時に自分でできること、協力してみんなのためにできることについて話し合い、いざというときに実行できるように指導します。

### 避難訓練 1日(金)

村の防災訓練に参加し、地震発生による津波の来襲を想定した避難訓練を行います。津波の際の避難経路や集合場所を確認し、診療所までの最短距離を考え、校舎を出てC線から避難します。

### 交通安全教室 26日(火)

9月26日(火)3校時(低学年)、4校時(高学年・中学生)に、交通安全教室を行います。

小学校では校庭の特設コースを実際に自転車で行きながら、正しい交通ルールを学びます。



## 2学期の主な行事予定

### ◆水泳指導終了

9月15日(金)

※小学校のプール納めは14日(木)3・4校時

予備日 15日(金)3・4校時

今年度は全学年合同で行います。

### ◆開校50周年記念式典

9月23日(土)

予備日 9月24日(日)

※振替休業日は9月25日(月)

### ◆道徳授業地区公開講座

9月30日(土)

### ◆学芸会

10月28日(土)

予備日 11月4日(土)

※振替休業日は10月30日(月)

### ◆小学校たてわり遠足

11月18日(土)

予備日 11月22日(水)

### ◆ロードレース大会

12月6日(水)

予備日 12月12日・13日

### ◆終業式

12月25日(月)



## 9月の主な行事予定

1	金	避難訓練	16	土	PTA プール開放
2	土		17	日	PTA プール開放
3	日		18	月	敬老の日【村】敬老の日のつどい PTA プール開放㊤
4	月	朝礼 安全指導 (小)委員会 SC 来校～8日	19	火	
5	火	あいさつ運動～9日	20	水	式典全体練習(3h) (中)役員会選挙
6	水	(小)ユネスコ集会	21	木	
7	木		22	金	式典予行(3h) 前日準備(6h)
8	金	(中)中朝礼	23	土	秋分の日 開校50周年記念式典(3h)
9	土	学校公開(3h)	24	日	開校50周年記念式典㊤
10	日		25	月	振替休業日(9/23分)
11	月	朝礼(保健指導) (小)クラブ	26	火	(小)クラブ
12	火		27	水	巡回相談～30日
13	水		28	木	部活動停止期間～10/5
14	木	(小)プール納め (中)委員会	29	金	
15	金	水泳指導終 (小)プール納め㊤	30	土	学校公開(4h) 道徳授業地区公開講座

※ 学校公開日は、保護者、地域の方々に公開します。